



since 1954

# のむらだより



発行所 ● 医療法人社団 秀和会 野村医院 〒660-0823 尼崎市大物町1丁目9-25 TEL:06-6481-4207 FAX:06-6401-6392 http://www.shuwakai-nomura.or.jp/ 発行人 ● 笠井 裕美

## 四年ぶりの

# のむらフェスタ



綿菓子



さくらメソピアノ音楽教室のみなさんによるミニコンサート



檜垣理事長の挨拶



くじ引き



リハビリハウスいちご尼崎によるマドレーヌ販売



スーパーボールすくい



ミニコンサート



たこ焼き



フェイスペイント



水俣病患者に救済を

みさき 漁

コロナ禍でいろいろなイベントが中止になり、利用者の方々もいつもハウスでの生活で、楽しみが減ってしまっていました。 やっと、四年ぶりのフェスタ再開。以前と比べて規模は小さいものの、利用者の方々の笑顔が久しぶりに戻ってきました。「これこれ」「これだ」と実感です。子どもたちのミニコンサートでみんなが笑顔になり、たくさん子どもたちが参加してくれたことで、フェスタも活気のあるものになりました。

「よかった〜」「やってよかった〜」みなさんの笑顔でスタッフの心も「ワクワク」させられました。来年はもっと楽しいものにしましょう。

小規模多機能型居宅介護のむら 吉浜 英美

## ふれあい

1956年 4月、熊本県水俣市在住のひとりの少女が、手足がしびれる、口がきけない、食事ができないほど重い症状を訴え、チソン水俣工場付属病院に入院し、当時の院長が保健所に報告したことが最初の「水俣病公式確認」です♡それから13年後の1969年、ようやく法律が作られ、水俣病患者の救済が行なわれることとなりましたが、企業も国も経済性、利潤追求を最優先し、環境への配慮を欠いたことが、67年が経過した現在も、多くの人々に健康被害やそれに伴う苦しみを与えています♡この9月、過去に熊本、鹿児島両県で生活し、水俣病の症状を抱えて関西に移り住み、水俣病と認定されておらず、救済策の対象にならなかった人たちが128人が、国と熊本県、原因企業に損害賠償を求めた集団訴訟で、大阪地裁は原告全員を水俣病とし、賠償を命じました。画期的な判決が下りましたが、10月に入り企業、国、熊本県ともに判決を不服とし、控訴しました。とても残念でなりません♡判決以外の説明できず、手足のしびれなどで身体的な苦痛を感じ、日常生活でも支障が生じている」という事実を耳を傾けて、救済に取組んで欲しい。

(H・N)



### みさき漁さんの 似顔絵教室 ギャラリー



生徒さんの作品

TELフリーダイヤル  
0120-979-451

#### 11月のテーマ

- 健康情報 (兵庫県保険医協会)
  - テレホンサービス—
  - 月曜日/子どもの不登校
  - 火曜日/オーラルフレイル
  - 水曜日/アキレス腱断裂
  - 木曜日/アレルギー性結膜炎
  - 金土日/一過性健忘症について
- ※3日(金・祝)5日(日)は木曜日のテーマを、23日(木・祝)は水曜日のテーマを放送します。

#### 健康情報

(兵庫県保険医協会)

#### お知らせ

#### のむら健康 いきいき体操教室

- ◎とき 毎月第一木曜日 午前10時〜
  - ◎ところ 地域生活支援ハウス のむら
  - ◎参加費 300円
  - ◎とき 毎月第一・第三月曜日 午後1時20分〜午後1時50分
  - ◎ところ 野村医院2階リハビリ室
  - ◎参加費 無料
- ※新型コロナウイルスの影響により、その他の教室関係は当面の間休止させていただいております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 職員リレー ⑦ エッセイ 子育ての終止符



数年前までは、家族で外出することが当たり前で、最近では友達と遊ぶことが多くなくなり、気づいたら家の中では主人と2人でいることが多くなりました。

親離れしていく子ども達の成長を目の前にして、嬉しい気持ちと淋しい気持ちがあります。ゆっくり一歩ずつ「成長しているなあ」と思うようになり、「朝、学校へ行くときに」「いつかきまあーす」と機嫌よく大きな声で言うとき

もあれば、ムスッと機嫌悪くして黙って家を出ることもあって、子育ての難しさを痛感します。お小遣いをもらうまでは手伝いをしてくれませんが、お小遣いを貰った瞬間手伝いをサボる姿を見て、詐欺にあった気分がいつもなります。

以前、勤めていた所は子育て中のスタッフが、よく相談していた方がいます。その方の言葉を思い出したいと思います。「子育ては待つのが大事」と伝授されました。「自分がどんなに忙しく何か作業していても、子どもが何か話しかけてきたらその手を一旦止めて、子どもと同じ目線になってお話をしっかり聞くようにしてあげなさい」と教えられました。いざ実践

しようと思いましたが、現実には時間に余裕がなく、一度も達成することなく終えた私の子育てでした。

私はこの先、孫ができたら、今までの子育ての教訓をいかし、今度は孫の子育てでは完璧な教育環境が出来るんじゃないかと、未来の自分の人生が楽しみになっています。

皆さんは、未来の自分を想像したことはありませんか？ 時間があれば、未来の自分を想像して何か挑戦してみるのもいいですね。

訪問看護師



### 兵庫県保険医協会第32回日常診療経験交流会

## 新型コロナウイルス感染症の対応を振り返って

10月29日、第32回日常診療経験交流会が開催され、野村医院からは受付事務の大川久美子氏と看護師の胡妙美氏が「新型コロナウイルス感染症への対応を振り返って」と題して発表を行いました。



2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の流行に対し、野村医院では様々な感染対策、電話診療、コンテナ設置での発熱外来などの対応を行ってきました。2021年からはコロナワクチン接種を開始し、2023年10月現在で延べ5500人以上の方に接種を行ってきました。

感染対策としては、マスク・手袋・フェイスシールドの使用、手指消毒の徹底、ビニールシートの設置などを行った結果、院内でのクラスターを回避し、診療を続けることができています。コロナワクチン接種では、ネット予約を取り入れて対応の円滑化を進めました。初めてのことで

問い合わせや予約への対応が上手くいかないこともありました。が、その都度、改善して対応していききました。

発表の最後には、「地域に根ざし、人々の生きるを支える」を基本に据え、いろいろ苦労もありつつ、3年を乗り越えてきました。今後も「地

域のかかりつけ医」として、診療対応・予防医療・介護福祉への支援を進めていくよう努力していきま」と報告がありました。

受付 楠 良寛

